

ものづくりマイスターの企業・学校派遣による実技指導の具体事例

事例① 企業への派遣

実施職種：建築大工

実施期間：平成25年9月24日～平成26年1月10日（11日間）

実施場所：建築業企業

マイスターの属性：建築会社での建家造作、認定職業訓練校等の指導員歴、計約50年のベテラン

指導対象：若手社員2名（23歳、28歳）

<指導内容>

- ・建築大工作業に必要な基礎知識の講義（3日）
材料及び工具、図面の説明、基本図の書き方、等
- ・技能検定：建築大工2級実技課題を活用した実習指導（8日）
図面の作成、木材の加工・組立、かな等の工具の調整に加え、大工の基本的な心構えを指導。

<指導を終えたマイスターの感想>

・技能検定2級課題を図面を逐一見なくても加工・組立が出来るレベルに到達した。

<企業の側の感想>

・建築大工としての自覚や誇り、自ら学ぶ姿勢、仕上りへの拘りが生まれた。



事例② 学校への派遣

実施職種：機械加工（普通旋盤）

実施期間：平成25年7月13日・27日（2日間）

実施場所：県立工業高校

マイスターの属性：メーカーでの普通旋盤、NC旋盤による部品加工、県立訓練校での指導員歴、計約50年のベテラン

指導対象：高校1年生5名

<指導内容>

- ・高校から、通常の授業とは異なるモチベーションで取り組み、技能に対する意識を高め、ひいては技能向上を図ることを目的に、マイスターの派遣要請。
- ・技能検定：普通旋盤作業3級実技の課題に基づき、芯出し・切削加工作業・測定といった一連の正しい工程のポイントを指導。

<指導を終えたマイスターの感想>

・少人数の実技指導を行うことで、生徒の個性や感性を把握の上、自らの欠点を認識させ、改善点を考えさせ、自主性・創造性を養う契機とすることができた。
2名は合格基準に到達。

